

1 プログラムの名称

久留米大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム
 ～臨床から研究まで～

2 研修期間

3年

3 募集要項

募集人員： 10名

募集期間： 1次募集 日本専門医機構のスケジュールに準ずる。

※一次募集で定員に達しない場合は二次募集を行います。福岡県全体での人数が定員に達し次第、募集が終了となりますので注意が必要です。

※2021年度に向けて、研修の選択肢が更に広がるよう、他の施設群との連携も申請中です。詳しくは担当者へお問い合わせください。

応募資格： 医師免許を有している者
 臨床研修を修了している者、または修了見込みの者

応募方法： 履歴書
 臨床研修修了証明書または修了見込み証明書
 医師免許証写し
 ※まずは担当者へお問い合わせください

選考方法： 書類審査 面接等

選考日： 応相談

処遇： 大学規定に準ずる。

4 プログラム統括責任者・指導医数

プログラム統括責任者：本岡 大道

専攻医指導医数：116名

5 主な連携施設

荒尾こころの郷病院 植田病院 宇和島病院 大川病院
 大貞病院 大島病院 大牟田保養院 おおりん病院
 奥村日田病院 甲斐病院 回生病院 加藤病院 小倉蒲生病院
 小倉記念病院 小鳥居諫早病院 松籟病院 新門司病院
 聖マリア病院 聖ルチア病院 大法山病院 たていわ病院
 田主丸中央病院 筑水会病院 堤病院 鳥栖松岡病院
 中村病院 のぞえ総合心療病院 早津江病院 堀川病院
 松ヶ丘病院 三池病院 みずほ病院 見立病院 南ヶ丘病院
 宮の陣病院 安武松岡病院

6 プログラムの特色

精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献する精神科専門医を育成することを目的とします。精神医療のニーズは拡大してきており、自然災害や犯罪による外傷後ストレス障害(PTSD)、高齢化による認知症の増加、24時間社会、夜型社会に伴う昼夜逆転を含む睡眠障害や中高齢者の自殺の増加、ひきこもり、不登校、自傷行為、摂食障害など児童思春期に多い病態などいずれも大きな社会問題となっています。幅広い分野での研修が可能です。1～2年目に基幹病院で研修し、精神医学の基礎を着実に身に付け、2～3年目以降は連携施設で研修を行うことを標準とします。さらに地域研修を深めたい場合は、2年次より愛媛県宇和島病院で地域研修に従事していただくことができます。宇和島病院は地域に密着した医療機関として予防・治療・アフターケアが一体となった医療を行い、障害を持ちながらも生きていける地域づくりを目指すことを理念としていますので、充実した研修生活を送ることが出来ます。臨床研究に特に興味を持つ場合、大学院に入学しながら専門医を獲得することも可能です。

基本的週間研修スケジュール

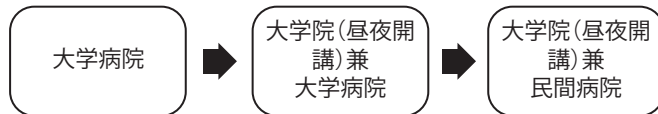
週32時間 常勤研修 (基幹・または連携施設)	週8時間 非常勤研修 (原則として連携施設)
----------------------------	---------------------------

原則として、週32時間は常勤研修とし、基幹施設あるいは連携施設での主たる研修にあたる。研修の幅を広げる目的で、週8時間は非常勤で原則として連携施設に勤務し、外来診療をはじめとして診療経験を積む。

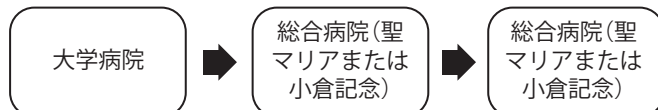
専攻医研修パターン例(以下、常勤研修部分)



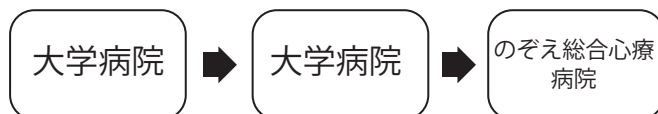
パターン1 基本例。最初の1年を基幹施設である久留米大学病院で研修し、2年目以降地域の民間(基本的には単科精神科)病院でより深く学ぶ方式である。右のパターンは基幹施設での研修年数を増やしたい専攻医に対して提供する。各民間病院の特色に合わせた研修が可能。



パターン2 大学院進学例。大学院の進学は前期研修医から可能であり、専攻医においても1-3年次のいずれも対象となる。昼夜開講制を利用し、基幹施設・連携施設での研修を兼ねることで、3年で専門研修を修了可能である。



パターン3 総合病院を中心とした例。救急症例、身体合併症例など、コンサルテーション・リエゾンを中心として総合病院精神医学を大学病院、それ以外の総合病院の2か所で包括的に研修することが可能である。身体疾患研修にも磨きをかけたい者のニーズに対応する。



パターン4 児童思春期精神医学の研修中心の例。児童思春期症例の多い大学病院とのぞえ総合心療病院にて研修し、薬物療法のみならず集団精神療法的なアプローチについても学ぶことが可能である。



パターン5 連携(地域研修)プログラム。大学病院で1年～1年半研修後、愛媛県宇和島病院で1年半～2年研修するパターン。予防・治療・アフターケアが一体となった地域医療を経験できる。宇和島病院研修後は、九州の病院にてさらに研鑽を積むことが可能である。

7 プログラム統括責任者から一言

将来、地域の第一線で活躍できる医師を育成するプログラムです。一般的な精神科臨床だけでなく、睡眠・児童思春期・てんかん・リエゾン・緩和ケア等の専門分野も学ぶことができ、臨床研究や大学院への進学も積極的に行っています。一緒により良い精神科医療を目指しませんか？

8 連絡先・担当者

久留米大学医学部神経精神医学講座

TEL: 0942-31-7564 FAX: 0942-35-6041

E-mail: psy_senmon@med.kurume-u.ac.jp

担当者: 柳本 寛子(医局長)

9 研修プログラムのURL

久留米大学神経精神科 専攻医研修プログラム

<http://www.neuropsychy-kurume.jp/program/second.html>

<http://fa.jspn.or.jp/program/0060.pdf>

